

平成 26 年度事業実施報告

1.概要

食を通じて県民のより良き QOL(Quolity of Life)向上に寄与することを使命とする本会の今年度の特徴的な事業として公益 1 では、平成 24、25 年度に続き厚生労働省補助事業として在宅栄養ケア活動支援整備事業を行った。3 年目となる本年度は、栄養ケア活動の本格的実施に向けた在宅訪問栄養ケアシステムの構築を目指し、新潟県医師会の協力のもとで、かかりつけ医の指示を受け、在宅訪問栄養食事指導が実践できる手順書・契約書を作成するなど、システム作りなどを行った。また、新潟県の在宅医療（栄養）推進事業の補助事業も 受託し、在宅訪問栄養ケアの充実・定着に向けた事業を展開した。公益 2 では、平成 26 年度から日本栄養士会の新たな生涯教育研修制度の導入に伴い、従来行ってきた生涯学習から生涯職能開発の考え方を取り入れた「生涯教育研修会」がスタートした。当会独自の取組も含めて試行錯誤しながらも基本研修は上・中・下越ブロックで合計 12 回（12 単位）、実務研修は 13 回（15 単位）を立ち上げることができた。生涯教育研修会に関するアンケート結果等をもとに次年度以降、初年度の改善を図りながら、一人ひとりの会員が生き生きと職務を全うし、活躍できるための研修を目指していきたい。

2.詳細

公益 1（公衆衛生・健康づくり・食育事業及び栄養相談・指導事業）

事業区分	事業内容	参加人数等
1. 健康づくり啓発に資する事業 (1)「講演会・セミナー」に関する事業	ア 県内各地で県民のニーズに応じたセミナーを開催した。テーマは新潟県が推進している「減塩ルネサンス」に沿った内容や対象者からの要望、地域での企画によるものであった。 ・食育人形劇・キッズ健康教室 ・スポーツ栄養セミナー・健康づくりセミナー ・生活習慣病予防講演会 等 イ 「健康づくり提唱のつどい：～五輪選手からあなたまで～目からウロコのスポーツ栄養」(生涯教育実務研修 1 単位) 平成 26 年 9 月 15 日、新潟市の会場で、(株)ヤクルトの協力で市民公開セミナーとして開催した。	参加者約 250 名

	<p>ウ 「にいがた健口文化フォーラム 2014 in 佐渡」に参加した。</p> <p>平成 26 年 10 月 25 日(土)、佐渡トキ元気館で、新潟県、佐渡市、新潟県歯科医師会等が主催したフォーラムにおいて、ブース展示を行った。</p>	
<p>(2)「食育」に関する事業</p>	<p>ア スマート・ダイエット・キャンペーン(次世代を担う高校生への“賢い食べ方”教育)事業(以下 SDC 事業)(新潟県委託事業)(新)</p> <p>高校生に向けた減塩啓発のため、にいがた減塩ルネサンス運動と連携・協働した「にいがた減塩ルネサンス運動「高校生向け啓発事業」を 10 支部の 10 高校で実施した。</p> <p>イ ごはん食推進事業</p> <p>新潟県食品流通課委託事業であるが、幼児・児童の保護者を対象に、日本型食生活や規則正しい食生活習慣についての理解と推進を図った。</p> <p>ウ 高校生米ふれあいスクール事業(新潟県米消費拡大推進協議会事業)</p> <p>高校生を対象に、米を主食とした日本型食生活の重要性に対する理解を図るために県栄で作成した高校生向け『食生活教材』や『弁当レシピ集』を用いた。</p>	<p>10 校 13 回 約 350 人</p> <p>・講演会 4 回 ・調理実習を伴う教室 5 回 9 か所 478 人</p> <p>14 校 18 回 471 人</p>
<p>(3)「情報提供」に関する事業</p> <p>2.健康づくりに資する事業</p> <p>(1)「栄養相談・指導」に関する事業</p>	<p>ア ホームページで“食生活お助けメニュー紹介”など、県民向けお役立て情報の発信に努めた。</p> <p>ア 特定保健指導</p> <p>県内各地で市町村や事業所などからの依頼を受け、国民健康保険被保険者のメタボリックシンドロームの該当者やその予備軍を対象とした栄養・保健指導を実施した。</p> <p>イ 日本赤十字健康相談事業(日本赤十字社委託事業)</p> <p>低ヘモグロビン献血者を対象に食事生活指導を平成 26 年 9 月から平成 27 年 2 月まで、新潟市と長岡市の献血ルームで月 1 回ずつ実施した。</p> <p>ウ 健康づくりセミナー(栄養)事業(新潟県警察本部事業)</p>	<p>新潟会場 6 回 長岡会場 6 回</p> <p>12 か所 396 人</p>

<p>(2)「疾病の重症化予防」に関する事業</p> <p>(3)「その他支援」に関する事業</p>	<p>「生活習慣病予防のための食生活」について、所属の講堂などで講演した。</p> <p>エ 関連職種団体、行政等から依頼のあったイベントに参加し、ブース出展と栄養・食事相談を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民健康福祉まつり・地産地消フェア・がん征圧大会 等 <p>オ 介護予防事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護入門講座 「高齢いきいき大学」(新潟県社会福祉協議会連携事業) <p>県内3か所で介護予防に関心のある県民を対象にし、バランスのとれた栄養と食事づくりと要介護への対応を目的とした“生活習慣病予防のための健康調理教室”講座を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防教室 <p>田上町で、生活機能が低下した高齢者を対象とした講座を開き、個別栄養指導、集団栄養指導を実施した。</p> <p>ア 平成26年度厚生労働省 腎疾患重症化予防実践事業</p> <p>腎疾患重症化予防のための戦略研究(FROM-J)に続き、前向き多重コホート研究として、新潟県を含む10県で実施され、新潟県では新潟大学医学部の細島康宏先生と栄養ケアステーションを中心に事業を展開した。主に新潟市内の診療所15施設と医療・地域活動事業部の管理栄養士15人が関わり、10月~12月の期間の中で、40歳以上85歳未満のCKDステージG3の外来患者を対象として、「たんぱく質摂取量」(新潟県の主要評価項目)を主とした個別指導を1人の対象者に対して2回、栄養相談と生活・食事指導を実施した。</p> <p>ア 在宅栄養ケア活動支援整備事業(厚生労働省補助事業)</p> <p>『栄養ケア活動の本格的実施に向けた在宅訪問栄養ケアシステムの構築を目指して一在宅療養者等</p>	<p>9回開催 (受講者189人)</p> <p>4回開催 (受講者80人)</p> <p>対象者60人</p>
--	---	--

	<p>のステージに合ったさらなる QOL の向上のために一』</p> <p>平成 24、25 年度の結果を踏まえて、在宅療養者の栄養ケアの本格的実施に向け、行政・医療・福祉・地域活動事業部の職域の垣根を超えて連絡、情報交換を密にして、在宅訪問栄養ケア事業の本格的推進を展開させた。</p> <p>主な事業内容の柱は次の 6 つである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. かかりつけ医と在宅訪問栄養指導を実施できる労働契約を結ぶ 2. 人材育成と潜在管理栄養士の確保 3. ヘルパー・グループホーム向けの教育及び研修会の開催 4. 「在宅訪問栄養ケアの手引き」の作成 5. 栄養ケアステーションの充実 6. 持続可能な活動基盤の整備 <p>事業終了後、実施した事業の結果について、『事業報告書』を作成した。</p> <p>※平成 26 年度事業報告書</p> <p>イ 在宅医療（栄養）推進事業（新潟県の補助事業）</p> <p>在宅療養者等における疾病の重症化予防、QOL 維持・向上を図るため、訪問栄養食事指導の取組の充実に向けて在宅訪問栄養食事指導媒体作成と人材育成用テキストを作成した。</p>	<p>1,600 部</p>
--	---	----------------

公益2（学術・技術の振興・普及事業）

事業区分	事業内容	参加人数等
1. 「調査・研究」に関する事業	<p>(1) 平成26年度腎疾患重症化予防実践事業 日本腎臓学会を中心とした前向き多重コホート研究に関わった。主に新潟市内の診療所15施設のCKDステージG3の外来患者60人に対して、新潟県の主要評価項目である「たんぱく質摂取量」についての食事指導を10月～12月の間に2回ずつ個別で実施後、iPadを用いてのデータを収集して、本部に送った。（平成26年で終了）</p> <p>(2) 新潟県小児肥満等発育調査 県内市町村保育所等の3～5歳児の肥満・やせの出現状況について、経年で把握分析するために公衆衛生事業部が平成26年度も6月に調査を行った。</p> <p>(3) 『第7回在宅ケアを考える集い in 越後2014』～認知症ケアの現状と課題～（主催：新潟県在宅ケアを考える会） 平成26年9月28日、長岡市ハイブ長岡で開催され、展示ブースで“在宅療養者のステージにあわせたQOLの向上を目指して”と題したパネル展示を行った。</p>	
2. 「研修会」に関する事業	<p>(1) 支部・職域事業部における研修 10支部・7職域事業部において地域や業務の特性を踏まえた研修会・講演会を実施した。</p> <p>(2) 生涯教育研修会 平成26年5月24日～平成27年3月14日まで基本研修、実務研修を上・中・下越の25会場で開催した。</p> <p>(3) 在宅栄養ケア大研修会 平成26年12月23日、新潟市の会場で、多職種との連携を図りながら在宅訪問栄養ケアに適切に対応できる人材を確保することと、管理栄養士自身のスキルアップをはかることを目的として、開催した。</p>	<p>受講者 延べ3,221人 （基本：1,800人） 実務：1,421人）</p> <p>受講者86人 （管理栄養士：77人 ケアマネージャー：9人）</p>

3.新潟栄養・食生活学会の 振 興	(4) 栄養士研修会(生涯教育実務研修 1 単位) 平成 27 年 2 月 21 日、新潟市の会場で新潟県から委託を受けて開催した。新潟県からの情報提供「平成 26 年度給食実施状況について」と、講義「業務に活かすプレゼンテーション技術」から新しい知見を得ることができた。	受講者 119 人
	(5) 平成 26 年度災害支援チーム(JDA-DAT)リーダー育成研修の伝達講習会 平成 27 年 2 月 21 日、大規模自然災害が発生したときに迅速に対応できる知識とスキルなどについて伝達講習を受けた。	受講者 37 人
	(1) 「新潟栄養・食生活学会」への助成 ア 平成 26 年 11 月 14 日 『学会誌』発行 イ 平成 26 年 9 月 6 日 新潟市で第 18 回総会と、第 17 回公開講演会を開催した。	300 部
	ウ 平成 26 年 12 月 13 日 新潟市で第 18 回学術集会を開催し、講演集も発行した。 ※「栄養新潟 Vol.47」に詳細を掲載	受講者 112 人 参加者 107 人 140 部

その他の共益的事業

事業区分	事業内容	備考
1. 機関誌「栄養新潟 Vol.47」の発行	(1) 新潟県地域振興局、県内市町村保健衛生担当課、栄養士養成施設の卒業生等にも配布し、栄養士会活動の PR に努めた。	2,000 部
2. ホームページの充実	(1) ホームページアクセス状況の分析 (2) 会員専用ページの充実 (3) 「生涯教育研修会情報」の掲載(新) (4) 在宅訪問管理栄養士の登録者募集のバナー設置(新)	
3. 賛助会員との意見交換会	平成 26 年 11 月 12 日、新潟市の会場で、初の意見交換会を開催した。(新)	参加 16 社 21 人

3.ネットワーク体制整備

県内外における各種団体の会議・委員会などに参加あるいは参画し、他機関・他職種との連携体制を構築し、各種事業の拡大、支援活動の展開を図るための環境づくりを行った。

(関連会議一覧)

No.	会議名	役職	就任者	備考
1	(公財)新潟県健康づくり財団 評議員会	評議員	会長	
2	(公財)新潟県歯科保健協会 評議員会	評議員	会長	
3	(公財)新潟県保健衛生センター 評議員会	評議員	会長	
4	健康支援勉強会	幹事	専務理事	事務局:(公財)新潟県保健衛生センター
5	新潟県米消費拡大推進協議会	構成員	会長	事務局:JA 新潟中央会 農業対策部
5	新潟県米消費拡大推進協議会	幹事	専務理事	事務局:JA 新潟中央会 農業対策部
6	新潟県救急搬送・受入協議会	委員	専務理事	担当:新潟県防災局消防課
7	新潟県留置施設視察委員会	委員	中村 トキ子	担当:新潟県警察本部
8	新潟県健診保健指導支援協議会	委員	会長	事務局:新潟県国民健康保険団体連合会
8	新潟県健診保健指導支援協議会 総務委員会	委員	入山 副会長	事務局:新潟県国民健康保険団体連合会
9	(一財)新潟県老人クラブ連合会 健康づくり委員会	委員	専務理事	
10	新潟県労働衛生医学協会	参与	会長	
11	新潟母性衛生学会	常任理事	会長	
12	新潟市糖尿病対策推進会議	幹事	牧野 令子	担当:新潟市医師会
13	新潟県糖尿病対策推進会議	理事	村山 稔子	担当:新潟県医師会
14	新潟県介護福祉士会	理事	顧問 富田 紘子	
15	新潟県老人福祉施設協議会	理事	会長	
16	新潟県糖尿病検診研究会	理事・運営委員	村山 稔子	事務局:新潟県健康づくり財団

17	「こいがた減塩ルネサンス」県民会議	構成員	専務理事	担当:新潟県健康対策課
17	「こいがた減塩ルネサンス」専門部会	構成員	学校健康 教育事業 部長 地域活動 事業部長	担当:新潟県健康対策課
18	新潟県小児保健研究会	役員	専務理事	
19	新潟県医療審議会	委員	会長	担当:新潟県 医務薬事課
20	新潟県健康づくり推進対策懇談会	委員	会長	担当:新潟県健康対策課 健康食育推進 係
21	新潟県食育推進協議会	委員	入山副会 長	担当:新潟県健康対策課 健康食育推進 係
22	新潟県歯科保健医療対策委員会	委員	会長	担当:新潟県健康対策課 歯科保健係
23	介護予防市町村支援委員会 専門部会	委員	福祉事業 部長	担当:新潟県高齢福祉保健課
24	新潟県地産地消推進委員会	委員	会長	担当:新潟県農林水産部 食品・流通課
25	消費者団体と北陸農政局との意見交換 会		入山副会 長	担当:北陸農政局新潟地域センター
26	新潟県慢性腎臓病・糖尿病対策推進会 議	委員	会長	担当:新潟県健康対策課 難病等対策係
27	新潟県国民健康保険団体連合会 保健 事業推進委員会	委員	入山副会 長	担当:新潟県国民健康保険団体連合会
28	新潟県民医療推進協議会	理事	会長	担当:新潟県医師会
29	健康寿命延伸にかかわる多職種協働推進 委員会	委員	会長	担当:新潟県医師会
30	在宅ケアにおける多職種協働推進委員 会	委員	会長	担当:新潟県医師会
31	在宅医療推進センター検討会議	委員	牧野 令子	担当:新潟県医師会
32	新潟市健康づくり推進委員会	委員	牧野 令子	担当:新潟市保健所
33	大災害に対する多職種協働推進委員会	委員	会長	担当:新潟県医師会
34	新潟市歯科保健推進会議	委員	牧野令子	担当:新潟市保健所

4. 事業種目別実施状況

(1) 県栄養士会主催会議・委員会・総会等開催状況（常任理事会、理事会は除く）

会 議 名	会 場	開 催 期 日 等
会務監査委員会	新潟県栄養士会事務局	5/16
平成 26 年度定時総会	新潟ユニゾンプラザ	6/14
三役(会長・副会長・専務理事)会議	新潟県栄養士会事務局	随時
会計説明会	新潟ユニゾンプラザ	9/22
総務・組織部会 ・会員増対策委員会 ・災害対策委員会	新潟県栄養士会事務局 新潟県栄養士会事務局	理事会開催時 12/8 12/16
事業部会 ・事業計画(公1)検討委員会 ・栄養ケアステーション検討委員会	新潟県栄養士会事務局 新潟県栄養士会事務局	理事会開催時 11/17 12/19
広報・情報部会・ 広報・HP委員会	新潟県栄養士会事務局 ビッグスワンスタジアム会議室	理事会開催時、9/4、11/5、 12/20 6/28, 11/26
学術・研修部会 ・新研修システム・生涯教育 検討委員会 ・新潟栄養・食生活学会のあり方 検討委員会	新潟県栄養士会事務局 悠久山栄養調理専門学校	理事会開催時 6/14 12/14
生涯教育研修会運営検討会議 (新研修システム・生涯教育検討委員会)	新潟県栄養士会事務局	4/3、4/30、5/7、6/14、 6/26、6/30、7/7、 9/3、10/10、10/24、11/17、 H. 2711/15
SDC 企画運営委員会 ・SDC・減塩ルネサンス運動「高校生向け啓発事業」打合せ 会	新潟県栄事務局 新潟ユニゾンプラザ 長岡さいわいプラザ	6/5 6/14 6/21
「栄養士法」改正ミーティング	新潟ユニゾンプラザ	11/28
「健康づくり提唱のつどい」 WG	新潟県栄事務局	4/11、5/14、6/9、7/25、 8/25
在宅栄養ケア事業検討会議 ・第1回評価委員会	新潟県栄養士会事務局 新潟ユニゾンプラザ	4/1、7/18、8/27、9/4、9/9 12/11、9/9

(2) 日本栄養士会主催会議・大会等参加状況

会議等名称	会場	参加者	開催期日
平成26年度第1回 諮問会議	日本健康・栄養会館	伊藤専務理事 (会長代理)	5/11～ 5/12
平成26年度日本栄養士会通常総会	東京ビッグサイト	代議員 4名	6/23～ 6/24
関東甲信越ブロック会長会議 (連盟・行政合同)	長野市	会長、連盟支部 長、県 行政担当 者	8/28～ 8/29
全国栄養士大会	横浜市 神奈川県立保健福祉 大学		8/23
生涯教育担当者会議	TKP 神田ビジネスセンター 502 会議室	太田理事 関 理事	11/22
平成26年度第2回 諮問会議	東京都港区新橋会議室	会長、村山副 会長、	2/14～ 2/15

(3) 平成26年度 新潟栄養・食生活学会関連事業

研修会等事業名	会場	参加者数	開催期日	備考
会務監査	新潟県栄養士 会事務局		5/14	
第1回新潟栄養・食生活学 会 幹事会	新潟ユニゾン プラザ (小研 1)	15名	5/26	
第17回栄養・食生活学会総 会・ 公開講演会	新潟ユニゾン プラザ (大会議 室)	112名	9/6	講師：荒井威吉 川嶋義 明
第2回新潟栄養・食生活学 会 幹事会	クロスパル新 潟	17名	11/10	
第18回学術集会・特別講演 会	新潟ユニゾン プラザ (大研修 室)	107名	12/13	講師：細島康宏 口演 14題